

第21期第19回常任理事会議事録

日時 昭和57年3月15日(月) 9.40~13.00

場所 気象庁総務会議室

出席者 岸保, 小平, 荒井, 内田, 河村, 黒木, 杉村,
竹内, 二宮, 松本, 増田, 村山

議題

1. 昭和57年度予算書案について
前回理事会に提案の予算書どおりとしたい。100周年の予算の取り崩しについては、はっきり分るようにしたい。
2. 記念式典について
別紙原案が了承され、「天気」に告示して、一人でも多く参加してもらうようにしたい。
 - (1) 記念式典次第について
原案了承
 - (2) 招待状(案)について
次回の理事会に提案する。
 - (3) 被表彰者の記念品について
表彰は、学会功労者として名誉会員の畠山久尚氏、和達清夫氏、会員の吉武素二氏の3人と事務功労者とする事になった。
記念品は、小平理事、荒井理事に一任することになった。
 - (4) 招待者への記念品について
できればシンボルマークを掘り込んだものを記念品としてさし上げたい。通史の別刷はさし上げることとする。
 - (5) 外国へ出した招待状のうち、現在のところ4か国から回答がきている。
中国から来ることになっている葉篤正氏(大気物理研究所長)に、関西支部と東北支部で記念講演をお願いしたい。
3. シンボルマークについて
目下図案の修正を依頼中で、次回の理事会までには

提案できる。

4. 「気象集誌」特別号の書店扱の価格について
書店では既に外国の商社、読者等に通知済で、今変更も不可能な状態なので、改定は難しい。増刷分が安くなるので、これで埋め合せはできる。
 5. 学会賞・藤原賞候補者の推薦について
松本理事から選考経過の報告があり、全理事に書面審査を依頼することになった。受賞候補者は次のとおり。
学会賞
林 良一会員(新しい解析手法による赤道波等地球規模大気擾乱の機構の研究)
竹内利雄会員
仲野 賢会員(北陸における冬の雷の研究)
藤原賞
新田 尚会員(日本の数値予報に関する研究開発の促進と知識の普及および国際交流への寄与)
 6. その他
 - (1) 学会奨励金受領候補者募集について
竹内理事から、募集内容の一部を次のように改めることが提案され、承認された。
「教育のかたわら気象学の研究を進めて来られてる方を」を「特に実践的な気象教育の研究をおすすめる個人またはグループ(少なくとも代表者は学会員)を」に改める。
なお、各支部から1件は、必ず出していただくよう要望したい。
 - (2) 熱帯気象学に関する地域科学会議の経費について
松本理事から、実行委員会の試算による不足経費については、気象学会の経費のうちから支出してもらえないかとの要望があった。
- 承認事項 若浜五郎ほか22名の新入会員を承認。